

小規模事業者 ICT 導入促進支援事業の事後調査（アンケート）の結果報告

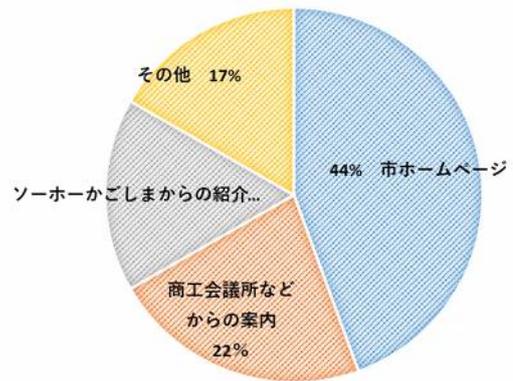
1. 調査概要

- ・実施時期 令和 5 年 8 月
- ・対象 令和 4 年度小規模事業者 ICT 導入促進支援事業補助金を活用した 18 事業者
※ステップ 2 申請事業者
- ・調査手段 アンケートをメール送信
- ・回答率 100%

2. 調査結果

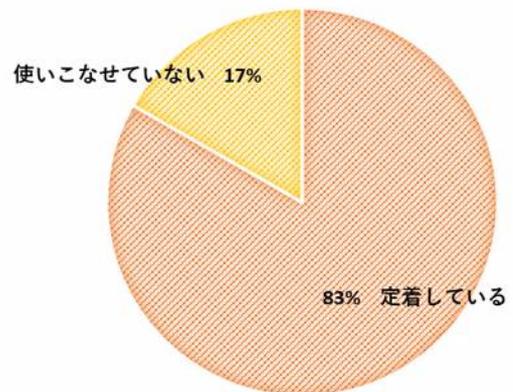
①本事業を知ったきっかけ

市ホームページが全体の 44%（8 事業者）と一番多く、続いて商工会議所などからの案内が 22%（4 事業者）、ソーホーかごしまからの紹介・その他（商店街関係者からの案内・テレビ・市広報課 FB）がともに 17%（各 3 事業者）であった。



②導入した ICT ツールが定着しているか

全体の 83%（15 事業者）が定着している一方、17%（3 事業者）は使いこなせていないことが分かった。

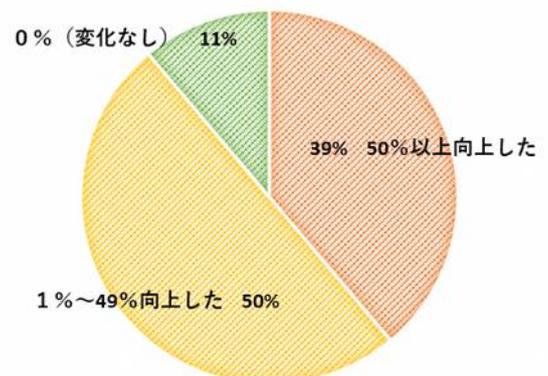


③ ICT ツールを導入したことにより業務効率は変化したか（向上率）

※向上率 (%) = {①導入前 (人数×時間) - ②導入後 (人数×時間)} ÷ ① × 100

50%以上向上した事業者が全体の 39%（7 事業者）、1～49%向上した事業者が 50%（9 事業者）、使いこなせていないことから変化がない事業者が 11%（2 事業者）であった。

ICT ツールを導入したことで 89%の事業者が業務効率を上げたことがわかった



④具体的にどのように業務効率化したか（一部抜粋）

- ・POS レジを導入して、レジ業務が早くなりお客様をお待たせしなくなったことや、レジ締め作業が効率化され労働時間が短縮された。また商品別の売上が明確になることにより発注の業務がスムーズになった
- ・GPS による車両位置の把握・可視化するシステムを導入し、事前に自社内や配達先でのトラックの到着時間を把握できることで業務の効率化を図るとともに、顧客満足度の向上につながった
- ・顧客管理システムを導入（今までは紙に手書き）することで、スムーズに顧客情報を入力でき、見やすく管理もしやすくなった。会計も楽になった
- ・自動文字起こしサービスの導入により、営業および制作業務の中の打合せの議事録がその場で作成できるようになった。クライアントとの内容の共有も容易になった。
- ・タブレット端末や取材用機器を用いながらクラウドサービスを活用することにより、ペーパーレスかつ迅速な出店・出品を促進できている。また、記録用端末を活用することで、収集した情報の管理をクラウド上で行うことで、情報へのアクセスが容易になった。
- ・販売管理システムを導入し、一部手書きで行っていた受発注や納品書及び請求書類の作成をシステム化することにより、紐付く事務及び経理作業の軽減と効率が図れた

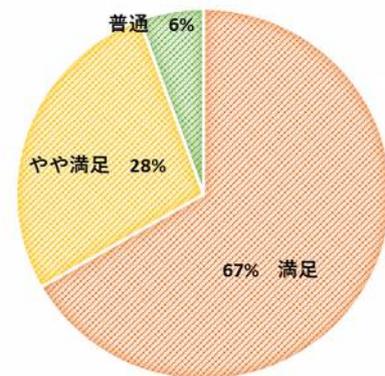
⑤今後、さらに ICT を活用した生産性向上に取り組む計画があるか

全体の 61%（11 事業者）が今のところなし、39%（7 事業者）があると回答し、店頭での WEB 決裁導入、勤怠管理のデジタル化、顧客情報管理の一元化を検討していることがわかった

⑥本事業の満足度

全体の 67%の事業者（12 事業者）は満足と回答し、28%の事業者（5 事業者）は「専門家派遣の負担額は念頭になかった」、「使いこなせていないため」等の理由からやや満足、残りの 6%（1 事業者）は、「もう少し範囲を広げて申請すればよかった」という理由から普通との回答であった。

94%の事業者が概ね満足していることがわかった。



⑦事業の意見・感想（一部抜粋）

- ・今回の機会がなければ導入はしなかったと思うので良かった
- ・生産性向上のためのツール導入は必須なので、今後もぜひ活用したい
- ・補助金を活用させてもらい、専門家のアドバイスのもとにスムーズに導入できたことを感謝したい
- ・導入して業務効率があがり仕事が以前よりはかどっている。このような支援があり、とてもありがたかった
- ・私の年齢は ICT 導入に苦手意識がある。先生の指導、得意なひとの力をかりて使用してみると、こんなにありがたいものはないと感じた